



本年4月1日付で産業部長を拜命いたしました。前任に引き続きご指導、ご鞭撻いただきますよう、お願いいたします。

さて、県では、産業の振興を進めるにあたり、「奈良」が持つポテンシャルを最大限引き出すための取組を「産業政策のパッケージ2026」として取りまとめ、本年2月に発表しました。県職員自らが企業を訪問し、得られた企業の「声」を起点にしたもので、主な内容を「奈良の成長に必要な『8つの柱』」に沿って、ご紹介します。

1つ目の柱は「時代に即した人材確保の展開」です。物価上昇を上回る賃上げを促進するため、賃上げを行う中小企業等へ給付金を支給します。また、IT関連サービス企業の誘致と県内高校生に対するDX人材育成プログラムを一体的に実施します。

2つ目の柱は「産業用地の確保と企業立地への支援」です。企業ニーズに即した用地情報を収集・提供するため、県内不動産団体との連携を強化します。また、企業立地促進補助金や制度融資・優遇税制等による支援を、継続実施します。

3つ目の柱は「事業承継・次世代への継承」です。新たに、事業承継を企業価値創出の契機とし、前向きに捉えるための啓発セミナーや、売り手と買い手のマッチングを図るイベントのほか、後継者育成セミナーの開催を支援します。

4つ目の柱は「企業競争力を支える基盤強化（生産性向上、DX等）」です。賃上げ環境を整えるため、コスト削減や、製品・サービスの付加価値向上に対する取組を支援します。また、県内の実質消費を回復するため、プレミアム商品券を発行します。

5つ目の柱は「地域の未来を創るGX・イノベーションの推進」です。民間活力を導入した官民連携による新たな脱炭素の取組や、奈良県SDGs企業認証制度を推進します。

6つ目の柱は「外国人材の確保と受入環境の充実」です。ベトナムホーチミン市工科大学の学生を招聘し、県内企業でのインターンシップを実施します。

7つ目の柱は「企業と行政の関係構築・強化」です。引き続き、県職員が県内企業を定期的に訪問し、関係を構築します。

8つ目の柱は「スタートアップへの支援」です。県内スタートアップが県外で交流・PRし、県外支援機関等からの支援を獲得できるようサポートを行います。

今後も、企業の声を聞いて、施策を構築し、その施策の情報をしっかりと届けていくというサイクルを基本に、産業の振興に取り組んでまいりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

「産業政策のパッケージ2026」掲載ホームページ▶
<https://www.pref.nara.lg.jp/n100/68379.html>



産業政策のパッケージ2026

奈良県産業部

部長 川上孝範